

iFreeレバレッジ ATMX+

ATMX+銘柄入れ替えについて

2021年5月6日

👉 お伝えしたいポイント

- ATMX+銘柄入れ替えについて
- 新規に追加された3銘柄の紹介

ATMX+銘柄入れ替えについて

当ファンドが連動を目指すATMX+指数は4月・10月に指数構成銘柄入替を含んだリバランスが行われます。今回3銘柄が新規に追加・3銘柄が除外となりましたのでご報告いたします。

新規に追加された銘柄は、2021年3月に香港証券取引所に重複上場したビリビリ、バイドゥ、2021年2月に香港証券取引所にIPO（新規株式公開）を行ったクアイショウの3銘柄となります。

除外された銘柄はSMIC、キングディー、アリババヘルスの3銘柄となります。新規追加銘柄はいずれも中国ネット業界のプラットフォームであり、市場規模・成長性・イノベーション指向が反映された結果と考えています。

ATMX+指数概要について

■ 投資対象

香港証券取引所に上場している「中国企業」の中から、業種（テック関連）・成長性・イノベーション指標の3要件を満たした株式

■ 銘柄数

10銘柄（投資対象の中の時価総額上位10銘柄）

■ 比率

等ウェイト（1銘柄10%）※リバランスタイミングで調整

■ 指数構成銘柄入替タイミング

4月・10月

■ リバランスタイミング

4月・10月（等ウェイトへの比率調整を行う）

銘柄選定方法概要について

STEP1

香港上場の全中国株が対象（ADRは含まない）
香港証券取引所に上場している「中国企業」の株式を投資対象ユニバースとする

STEP2

FactSetのメソッドによりテクノロジー系業種と定義された企業を選出
STEP1銘柄群から、FactSetが選定した「RBICS」業種に合致する銘柄のみを抽出

STEP3

流動性スクリーニング
STEP2銘柄群から、3ヶ月平均出来高が下位20%にランクする銘柄群を除外

STEP4

イノベーションスクリーニング
STEP3銘柄群から、①直近1年の売上成長率、RDレシオによるスクリーニング

STEP5

指数採用銘柄の決定
STEP4銘柄群から、浮動株比率調整後時価総額で上位10銘柄を選定

STEP6

1銘柄10%の等ウェイト投資
イコールウェイトで銘柄を構成

新規に追加された3銘柄の紹介

クアイショウ（快手）

会社概要

ショート動画プラットフォーム

2011年にGIF動画の作成・共有ツールの作成からスタートして、中国のショート動画市場の成長をけん引し続けています。

同社の平均1日間のアクティブユーザー数は2.7億人に達しています。（2020.4Q時点）

ライブ配信において、視聴者が配信者に払う、いわゆる「投げ銭」市場は中国で1,000億元（約1兆6,000億円）超の規模となっています。会社から直近発表された情報によると同社のプラットフォーム上で2020年に17億回を超えるライブ配信が行われ332億元（約5,500億円）の売上高を生み出しており、中心的な事業となっています。

会社の強み

収益構造の多角化

多様なコンテンツが生み出すトラフィックをいかに収益化していくかという点に注目が集まります。同社は、ライブ配信事業とともに、オンラインマーケティング（広告）、EC事業の3分野が中心となりつつあります。ライブ配信事業が売上のほとんどを占めていますが、ライブ配信事業の売上構成比は、2019年80.4%、2020年56.5%とオンラインマーケティングの急成長で低下しており、収益の多角化が進んでいます。2020.4Qにおいてはオンラインマーケティングの売上が、ライブ配信事業の売上を初めて逆転しました。成長する中国のネット業界の中でトラフィックを順調にビジネス化しています。

※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※銘柄に関する記載は各種資料より当社が作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。

新規に追加された3銘柄の紹介(2)

■ ビリビリ (哔哩哔哩)

会社概要

中国版ニコニコ動画

2009年に創設された中国トップクラスの動画プラットフォームで、月間のアクティブユーザーが1億人を超える人気動画共有サイトの「bilibili」を運営しています。動画上に視聴者がコメントをアップする「弹幕」と呼ばれる機能が特徴で、日本では中国版ニコニコ動画と称されます。

同社はモバイルゲーム事業も行っており、2015年にテンセントから出資を受け、2016年には中国版ライセンスを取得した「Fate/Grand Order」をローンチして大ヒットとなり、大きく売り上げを伸ばしました。

会社の強み

コンテンツの多様化

同社はアニメやゲームなど二次元コンテンツに強みがあり、サブカルチャーに関心の強いZ世代(1995年～2009年頃の間)に生まれた「デジタル・ネイティブ」世代)から絶大な人気を博しています。現在は、その人気を活かし様々な分野に進出することで、中国国内で影響力を持つプラットフォームになりました。

収益構造は、以前はモバイルゲーム事業が収益の中心でしたが、足元では非ゲーム事業の収入が大きく増加し、収入源の多角化が進んでいます。

同社は、テンセント、アリババ、ソニーなどから戦略的な投資を受けており、大手企業からも注目を受ける存在です。

■ バイドウ (百度)

会社概要

中国のグーグル

中国国内で検索エンジンを運営する情報通信サービス企業で、中国のグーグルとたとえられることがあります。

検索エンジンにおける同社のシェアは国内首位です。また、「百度百科」というオンライン百科事典の運営や、「百度知道」というYahoo!知恵袋のようなサービスの運営も行なっています。

同社の収益源は、検索時やニュースなどの表示時に挿入される広告による収入です。

検索エンジンは一度使うと同じものを使い続ける傾向があり、結果として同社には安定的な収益がもたらされています。また、中国ではグーグルの検索機能が規制されていることから、国内で圧倒的な強みを持ち、インターネット人口はいまなお増加の途上であり、今後も成長余地があります。

会社の強み

事業の多角化

更に「アイチーイ」という動画配信サービスやグーグルのストリートビューのような地図機能の提供も行なうなど、国内ではインターネットサービス全般で圧倒的な存在感を誇っています。なお、日本ではスマートフォンの日本語変換ソフトのSimejiなどを提供しています。

また、近年AI関連の投資を増やしており、例としてはアポロ計画と呼ばれる自動車の自動運転システムの開発連合を率いています。この計画にはフォード・モーター、ダイムラーといった世界的自動車メーカーに加え、エヌビディアやインテルといった最先端IT企業も参画しています。

※後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。※銘柄に関する記載は各種資料より当社が作成。※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざします。

ファンドの特色

1. 日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行ないます。

※基準価額は、原則として計算日に知り得る直近の日の清算値段または最終相場が反映されます。

※香港証券取引所の営業日において FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となるための調整を行なうこととします。そのため、日本の休業日前後の基準価額の値動きが、FactSetATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍から乖離する場合があります。

以下の投資対象から流動性等を考慮してその配分比率を決定します。

- 連動債券
 - ダイワ・マネースtock・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
 - 株価指数先物取引
- ※上記投資対象以外に、上記投資対象と同様の投資成果が期待できる資産を組み入れることがあります。
※連動債券について、くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「連動債券の概要」をご参照下さい。

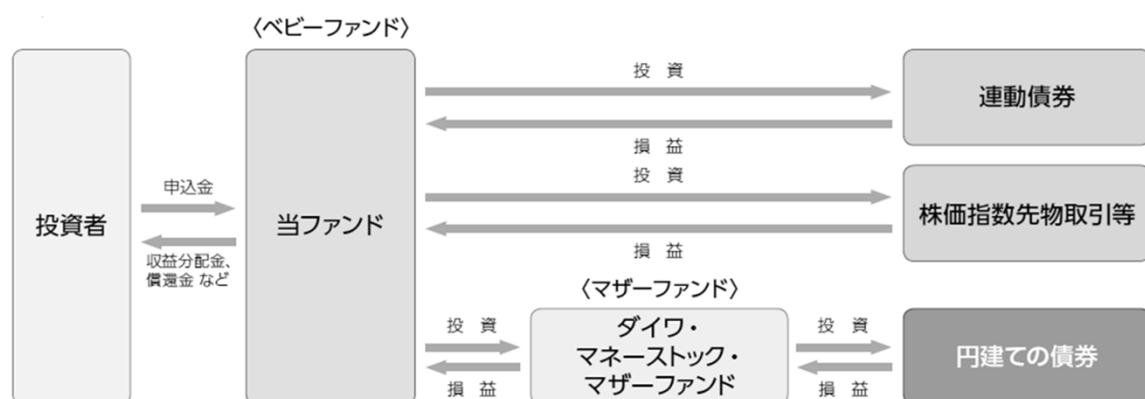
為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式での運用の他、連動債券および先物取引等を通じた運用により投資成果を享受します。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



●FactSet ATMX+指数について

FactSet ATMX+指数は、香港証券取引所に上場している「中国企業」の中で、業種（テック関連）・成長性・イノベーション指標の3要件を満たした銘柄のうち時価総額上位10銘柄を対象に構成された株価指数です。

FactSet ATMX+指数は、これらの企業に等金額投資したポートフォリオで構成されています。
※当指数は、半期（4・10月）ごとに指数構成銘柄入替および等金額となるようリバランスを行ないます。

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動）」、「株価指数先物取引の利用に伴うリスク」、「連動債券への投資に伴うリスク」、「連動対象の指数に関するリスク」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「コントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等、連動債券の流動性に関するリスク）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど2倍」になるとはかぎりません。

※一般に、対象指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、基準価額は押下げられることになります。

※レバレッジ運用を行なう先物取引や連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。そのため、長期に保有する場合、金利負担が累積されます。

※為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2% (税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.034% (税抜 0.94%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 連動債券	年率 0.19%程度	連動債券にかかる費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の 概算値	年率 1.224% (税込) 程度 (連動債券にかかる費用等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引・スワップ取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注) 当ファンドおよび連動債券における「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券および上場投資証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

iFreeレバレッジ ATMX+ 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○